

(4) 宮古圏域

地域の概要

本圏域は、北東から南西へ弓状に連なる琉球弧のほぼ中間に位置する宮古島市と多良間村の1市1村で構成され、本県総面積の約10%を占めている。宮古島、多良間島ともに隆起サンゴ礁からなり、島全体が平坦で山や河川はないのが特徴である。

農業については、総農家数が県全体の約27%で耕地面積が約30%を占めており、さとうきび、葉たばこを中心として近年は畑地かんがい施設の整備とともに施設野菜・果樹などの高付加価値作物への転換が促進され、ゴーヤー、かぼちゃ、とうがん、マンゴー、オクラ、肉用牛が拠点産地として認定され、生産振興に取り組んでいる。

宮古島においては、国営かんがい排水事業で整備された地下ダムを水源としたかんがい施設整備をはじめ、各種農業生産基盤整備が進められている。また、伊良部島においても国営かんがい排水事業宮古伊良部地区による整備が行われているところであり、農業用水源の安定確保が図られ、さらに農業生産の拡大が期待される地域である。

また、本圏域は平坦な地形を生かした優良農地を中心とした美しい田園風景と豊かな海浜景観に恵まれ、近年ではクルーズ船寄港等による入域観光客数も増加しており、体験・滞在型のグリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズムを通じた農林水産業の振興が期待される地域である。



地下ダム水位水質監視施設での水まつり



トウガン、カボチャの出荷・選別状況
JA宮古

【現状と課題】

- 本圏域の農業農村整備事業は、平成12年度に宮古島・来間島を受益地域とした国営・公団営事業による地下ダム等が完成し、同地下ダムを水源とした県営及び団体営によるかんがい施設整備が大幅に進展している。平成21年度から伊良部島の農業用水確保を主とした国営かんがい排水事業宮古伊良部地区が着工しており、多良間島においても国営かんがい排水事業の事業化に向けて平成28年度から国による地域調査が行われている。本圏域では、国営事業の推進とともに引き続き国営関連地区をはじめとしたかんがい施設整備やほ場整備等の農業農村整備事業が求められている。
- 整備後一定年経過した農業水利施設や海岸保全施設等については、老朽化等による機能低下の可能性あることから、機能診断調査を行い、必要に応じて対策工事を実施する長寿命化対策が求められている。
- 農地防風林については、台風や季節風により農作物や農業用施設がたびたび被害を受けていることや、既存の防風施設の欠損等により機能が維持されていない箇所があり、その対策が求められている。
- 農業集落排水施設については、老朽化等による施設の安全性や機能低下の可能性があり、機能診断調査や更新整備等の適切な保安全管理が求められている。
- 農業基盤整備の進展とともに、造成された施設の適切な維持管理は重要な課題となっており、地域住民による施設の維持管理・保全活動の推進とともにその支援が求められている。
- 農家民宿等を利用したグリーン・ツーリズムが活発に行われてきており、その取組の支援が求められている。



畑地かんがい施設整備状況
スプリンクラーによる散水で潤うほ場



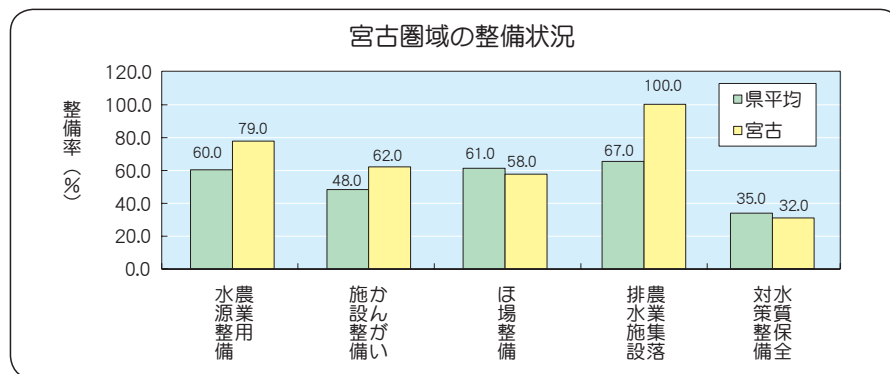
多面的機能支払交付金事業
地域住民による除草の維持管理作業

【取組方針】

- 宮古島市においては、国営関連事業であるほ場整備、かんがい施設整備を推進するとともに、農業水利施設等の老朽化対策については、市及び土地改良区との連携を図り、ストックマネジメント事業等を活用し老朽化施設の機能保全及び長寿命化に取り組む。
- 多良間村においては、国営かんがい排水事業の事業化に向けて、国や村と連携を図るとともに、ほ場整備等の農業生産基盤整備を推進する。
- ほ場整備については、農地中間管理機構との連携を図り、担い手農家への農地集積を促進し、土地利用型作物の生産拡大及び高収益性作物への転換を図る。
- 農地防風林については、農地保全整備事業（防風施設）等を活用し、新設整備と併せて老朽化施設の更新整備を推進し、農作物及び農業用施設の風害、潮害からの被害軽減に取り組む。
- 老朽化が進んでいる農業集落排水施設については、機能診断を実施し、適宜更新整備に取り組む。また、接続率向上に向け、市町村と連携し、事業の啓発・普及に取り組む。
- 多面的機能支払交付金事業等を各地域で推進し、地域による農地・農業用施設の保全管理及び農村環境の保全にかかる取組の支援により、地域の活性化につなげる。
- グリーン・ツーリズムや6次産業化等の取組への支援を行い、地域のリーダーとなるような人材育成を促進し、農村地域の活性化を図る。

【整備状況】

(平成27年度末)



【整備目標】

宮古圏域

工種	要整備量	平成23年度 (基準年)	平成27年度 (実績)	平成33年度 (目標値)
農業用水源整備	11,776ha	9,306ha 79%	9,306ha 79%	10,381ha 88%
かんがい施設整備	11,776ha	6,896ha 59%	7,324ha 62%	8,087ha 69%
ほ場整備	10,663ha	5,692ha 53%	6,209ha 58%	7,516ha 70%
農業集落排水施設	2,857人	—	3,567人 100%	3,308人 100%
水質保全対策整備	364ha	118ha 32%	118ha 32%	181ha 50%

※農業用水源整備、かんがい施設整備及びほ場整備については、平成27年度実績見込み

※農業集落排水施設の要整備量は、将来人口予想を含めたH47推定処理人口であり、施設整備の着手率は100%となっている。